

分 類：臨床医学Ⅱ

授 業 科 目 名：リハビリテーション（Rehabilitation Medicine）

対 象 学 年：3 年次 必修

時間割コード：71633012

開 設 学 期 等：第 23 週～第 24 週

単 位 数：1

1. 主任教員

粕 川 雄 司（准教授、リハビリテーション科、6213、オフィスアワー：9：00-17：00）

2. 担当教員

粕 川 雄 司（准教授、リハビリテーション科、6213、オフィスアワー：9：00-17：00）

工 藤 大 輔（助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

本 郷 道 生（教授、保健学科 理学療法学専攻、6532）

竹 内 直 行（教授、保健学科 理学療法学専攻）

佐 竹 将 宏（教授、保健学科 理学療法学専攻）

若 狭 正 彦（教授、保健学科 理学療法学専攻）

久 米 裕（教授、保健学科 作業療法学専攻）

上村佐知子（准教授、保健学科 理学療法学専攻）

富 澤 涼 子（准教授、保健学科 作業療法学専攻）

三 澤 晶 子（非常勤講師、秋田県立医療療育センター）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【授業のねらい】

リハビリテーションの歴史や基本的考え方，リハビリテーション医療の実際と種々のテクノロジーの学習を通して全人格的アプローチを理解し，興味を深める。また，関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法（制度），EBM について学ぶ。

【概要】

D-2-4-1 脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる（2-6、3-3、4-1～4-8）

D-2-4-9 先天性と周産期脳障害 脳性麻痺の病因、病型、症候とリハビリテーションを説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8）

D-4-3 症候

・運動麻痺・筋力低下（3-2,4-2）

・関節痛・関節腫脹（3-2,4-2）

・腰背部痛（3-2,4-2）

D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患

・脊髄損傷の診断・治療を説明できる。（3-1～3-7,4-1～4-4）

・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。（3-3,3-4,4-3,4-4）

D-5-4-(1) 心不全

・急性心不全と慢性心不全の診断と非薬物治療（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8）

D-5-4-(2) 虚血性心疾患

・虚血性心疾患の心臓リハビリテーションを説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8）

D-6-4-(3) 閉塞性換気障害・拘束性換気障害をきたす肺疾患

・慢性閉塞性肺疾患（COPD）の呼吸器リハビリテーションを説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8）

E-4-3-(2) 関節リウマチと類縁疾患

・関節リウマチの治療とリハビリテーションを説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8）

E-8-1 老化と高齢者の特徴（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8）

- ・高齢者に特有な疾患・病態のリハビリテーション，介護，人生の最終段階における医療に関わる問題を学ぶ．
- ・フレイル，サルコペニア，ロコモティブ・シンドロームの概念，その対処法，予防が説明できる．
- ・歩行障害，転倒の評価，鑑別診断を行い，原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを実施できる．

F-2-14 リハビリテーション

- ・リハビリテーションの基本を学ぶ（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8）

F-2-15 在宅医療と介護

- ・在宅医療と介護の基本を学ぶ（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8）

関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法（制度），EBM について説明できる．（1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）

4. 教科書・参考書

リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版（公益社団法人日本リハビリテーション医学会 監修，医学書院発行，定価 4,400 円（本体 4,000 円＋税 10 %）

整形外科 術後理学療法プログラム 第3版（メジカルビュー社）

5. 成績評価の方法

統一試験，形成試験，出席状況

形成試験は，得点率 60%以上を合格とします．

講義回数の 3 分の 2 以上の出席がない場合は，3 年次統一試験の受験資格を得られません．

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

基本的に全講義必修で，出席の確認を行います．

オンデマンド（E-learning）は，確認テストの実施で出席となります．

医学部・保健学科理学療法学専攻・作業療法学専攻 3 年生での合同講義となります．

出席確認などのため，予め指定されたエリアの座席に着座してください．

講義資料は Web Class（ウェブクラス）にアップロードされるので予め入手して講義に備えてください．

講義内容の録音・録画は禁止します．

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	10月 17日 (木)	1-2 時限	講義	テーマ：内部障害（E-learning） 【学習目標】 内部障害に対するリハビリテーションの概念と適応を説明できる． 【概要】 D-5-4-(1) 心不全 ・急性心不全と慢性心不全の診断と非薬物治療（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8） D-5-4-(2) 虚血性心疾患 ・虚血性心疾患の心臓リハビリテーションを説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる． (1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	竹内直行	医学系研究棟4階6講義室
2	10月 17日 (木)	3-4 時限	講義	テーマ：呼吸リハビリ（E-learning） 【学習目標】 呼吸リハビリテーションを説明できる． 【概要】 D-6-4-(3) 閉塞性換気障害・拘束性換気障害をきたす肺疾患 ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）の呼吸器リハビリテーションを説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる． (1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	佐竹将宏	医学系研究棟4階6講義室
3	10月 17日 (木)	5-6 時限	講義	テーマ：がんのリハビリテーション（E-learning） 【学習目標】 がんに対するリハビリテーションの概念と適応を説明できる． 【概要】 F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法（制度），EBM について説明できる． (1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	竹内直行	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
4	10月 17日 (木)	7-8 時限	講義	テーマ：腰痛症（E-learning） 【学習目標】 腰痛症のリハビリテーションを説明できる． 【概要】 D-4-3 症候 ・運動麻痺・筋力低下（3-2,4-2） ・腰背部痛（3-2,4-2） D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患 ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。（3-3,3-4,4-3,4-4） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる． （1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）	本郷道生	医学系研究棟 4 階 6 講義室
5	10月 17日 (木)	9-10 時限	講義	テーマ：関節リウマチ（E-learning） 【学習目標】 関節リウマチのリハビリテーションを説明できる． 【概要】 E-4-3-(2) 関節リウマチと類縁疾患 ・関節リウマチの治療とリハビリテーションを説明できる（2-6、3-3、4-1～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる． （1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）	本郷道生	医学系研究棟 4 階 6 講義室
6	10月 22日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：リハビリテーション総論 【学習目標】 リハビリテーションの基本を学ぶ．リハビリテーション・チームの構成を理解し，医師の役割を説明できる．障害を国際生活機能分類の心身機能・身体構造，活動，参加に分けて説明できる．機能障害と日常生活動作（activities of daily living ADL）の評価ができる． F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8）	粕川雄司	医学系研究棟 4 階 6 講義室
7	10月 22日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：理学療法総論 【学習目標】 理学療法を概説できる． 【概要】 F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる． （1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）	若狭正彦	医学系研究棟 4 階 6 講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
8	10月 22日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：作業療法総論 【学習目標】 作業療法を概説できる。 【概要】 D-4-3 症候 ・運動麻痺・筋力低下 (3-2,4-2) ・関節痛・関節腫脹 (3-2,4-2) ・腰背部痛 (3-2,4-2) F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ。(2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8) 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	富澤涼子	医学系研究棟4階6講義室
9	10月 22日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：介護・福祉 【学習目標】 福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。 【概要】 F-2-15 在宅医療と介護 ・在宅医療と介護の基本を学ぶ。(2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8) 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法(制度)，EBM について説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	粕川雄司	医学系研究棟4階6講義室
10	10月 22日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：小児 【学習目標】 脳性麻痺などの病因，病型，症候とリハビリテーションを説明できる。 【概要】 D-2-4-9 先天性と周産期脳障害：脳性麻痺の病因，病型，症候とリハビリテーションを説明できる。(2-6、3-3、4-1～4-8) 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法(制度)，EBM について説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	三澤晶子	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	10月 23日 (水)	1-2 時限	講義	テーマ：理学療法各論 【学習目標】 理学療法を概説できる． 【概要】 D-4-3 症候 ・運動麻痺・筋力低下 (3-2,4-2) ・関節痛・関節腫脹 (3-2,4-2) ・腰背部痛 (3-2,4-2) D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患 ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる．(3-3,3-4,4-3,4-4) 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる．(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	上村佐知子	医学系研究棟 4 階 6 講義室
12	10月 23日 (水)	3-4 時限	講義	テーマ：作業療法各論 【学習目標】 作業療法を概説できる． 【概要】 D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患 ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる．(3-3,3-4,4-3,4-4) F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ (2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8) 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる．(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	富澤涼子	医学系研究棟 4 階 6 講義室
13	10月 23日 (水)	5-6 時限	講義	テーマ：運動器疾患 (E-learning) 【学習目標】 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる． 【概要】 D-4-3 症候 ・運動麻痺・筋力低下 (3-2,4-2) ・関節痛・関節腫脹 (3-2,4-2) ・腰背部痛 (3-2,4-2) D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患 ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる．(3-3,3-4,4-3,4-4) E-8-1 老化と高齢者の特徴 (2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8) ・高齢者に特有な疾患・病態のリハビリテーション，介護，人生の最終段階における医療に関わる問題を学ぶ． ・フレイル，サルコペニア，ロコモティブ・シンドロームの概念，その対処法、予防が説明できる． ・歩行障害，転倒の評価，鑑別診断を行い，原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを実施できる． 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる．(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	本郷道生	医学系研究棟 4 階 6 講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
14	10月 23日 (水)	7-8 時限	講義	テーマ：脳血管障害（E-learning） 【学習目標】 脳血管障害の急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる． 【概要】 D-2-4-1 脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる．（2-6、3-3、4-1～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる．（1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）	竹内直行	医学系研究棟 4 階 6 講義室
15	10月 23日 (水)	9-10 時限	講義	テーマ：スポーツ障害 【学習目標】 運動器疾患（スポーツ傷害・障害）のリハビリテーションを概説できる． 【概要】 D-4-3 症候 ・関節痛・関節腫脹（3-2,4-2） ・腰背部痛（3-2,4-2） D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患 ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる．（3-3,3-4,4-3,4-4） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる．（1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）	工藤大輔	医学系研究棟 4 階 6 講義室
16	10月 25日 (金)	1-2 時限	講義	テーマ：義肢・装具 【学習目標】 主な歩行補助具，車椅子，義肢（義手・義足）と装具を概説できる． 【概要】 F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ． ・主な歩行補助具，車椅子，義肢（義手・義足）と装具を概説できる（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法（制度），EBM について説明できる．（1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）	粕川雄司	医学系研究棟 4 階 6 講義室
17	10月 25日 (金)	3-4 時限	講義	テーマ：物理療法 【学習目標】 物理療法を概説できる． 【概要】 F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ．（2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8） 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，EBM について説明できる．（1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2）	粕川雄司	医学系研究棟 4 階 6 講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
18	10月 25日 (金)	5-6 時限	講義	テーマ：精神障害 【学習目標】 精神障害のリハビリテーションを説明できる。 【概要】 E-8-1 老化と高齢者の特徴 (2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8) ・高齢者に特有な疾患・病態のリハビリテーション、介護、人生の最終段階における医療に関わる問題を学ぶ。 F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ。(2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8) 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法(制度)，EBM について説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	久米 裕	医学系研究棟4階6講義室
19	10月 25日 (金)	7-8 時限	講義	テーマ：脊髄損傷 【学習目標】 脊髄損傷のリハビリテーションを概説できる。 【概要】 D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患 ・脊髄損傷の診断・治療を説明できる。(3-1～3-7,4-1～4-4) F-2-14 リハビリテーション ・リハビリテーションの基本を学ぶ。(2-1～2-3、2-5～2-7、3-2～3-7、4-7～4-8) 関連するプロフェッショナリズム，多職種連携，倫理，医療行動科学，医療安全，医療法(制度)，EBM について説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)	粕川雄司	医学系研究棟4階6講義室
20	10月 25日 (金)	9-10 時限	形成評価	テーマ：形成試験 【学習目標】 形成試験で学習内容の達成度を確認する。	粕川雄司	医学系研究棟4階6講義室